

**【溶解後の安定性に関する資料】**  
**ラコサミドドライシロップ 10%「ケミファ」**

● 目的

ラコサミドドライシロップ 10%「ケミファ」の溶解後の安定性を確認するため、試験を実施した。

● 保存条件

室温（なりゆき温度・湿度）、室内散光下、24時間、透明ガラス容器

● 試験方法

ラコサミド約 0.1g に対応する量を量り、水道水 50mL を加えてよくかき混ぜ、溶解状態とする。  
溶解後 24 時間保存し、試験を行った。

● 試験項目

外観（n=3）、残存率（開始時のラコサミド含量を 100.0%としたときの含量/n=3）

● 結果

| 試験項目   | 判定基準        | 溶解直後 | 24 時間        |
|--------|-------------|------|--------------|
| 外観（溶状） | —           | 無色澄明 |              |
| 残存率（%） | 95.0～105.0% | —    | 99.64～100.09 |

表中の数値は、最小値～最大値を表す。

● 結論

ラコサミドドライシロップ 10%「ケミファ」について、溶解後の安定性を確認した結果、室温及び室内散光下において溶解後 24 時間安定であった。

出典：日本ケミファ株式会社 溶解後の安定性に関する資料（社内資料）